

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地			
名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校		平成3年3月29日	小川 義則	〒 464-0850 (住所) 愛知県名古屋市中千種区今池5-24-4 (電話) 052-732-4600			
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人電波学園		昭和34年3月31日	理事長 小川 明治	〒 456-0031 (住所) 愛知県名古屋市中熱田区神宮四丁目7番21号 (電話) 052-681-2299			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル科	平成25年文部科学省告示第3号		平成25年度		
学科の目的	ブライダル業界はもとより、社会から歓迎される人柄を兼ね備えた人材を講義・実習を通して育成する						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能資格:ブライダルコーディネーター技能検定・アソシエイトブライダルコーディネーター認定資格・秘書技能検定 令和4年度 中退率:14%						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位数時間、単位いずれかに記入 1,860 単位数時間 単位	720 単位数時間 単位	240 単位数時間 単位	1,230 単位数時間 単位	単位時間 単位	単位時間 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
160人	56人	0人	0%				
就職等の状況	■卒業生数(C)		32	人			
	■就職希望者数(D)		31	人			
	■就職者数(E)		31	人			
	■地元就職者数(F)		12	人			
	■就職率(E/D)		100	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		39	%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		97	%			
	■進学者数		0	人			
	■その他		その他:1人				
	(令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報)						
■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) ㈱クレールコーポレーション、アイ・ケイ・ケイホールディングス㈱、㈱NOVIC、㈱マリエ、熱田神宮会館(ブライダル業界)、伊勢志摩リゾートマネジメント㈱(ホテル業界)							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無				
当該学科のホームページURL	https://www.ncf.ac.jp/						
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位数による算定)						
	総授業時数		1,860 単位数時間				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		540 単位数時間					
うち企業等と連携した演習の授業時数		60 単位数時間					
うち必修授業時数		1,530 単位数時間					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		180 単位数時間					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		60 単位数時間					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位数時間					
(B:単位数による算定)							
総授業時数		単位					
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位					
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位					
うち必修授業時数		単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		3人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		0人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人				
	計		3人				
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		2人					

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

社会が求める人材は日常会話からコミュニケーションがとれる会話力であり、現場での実習等により、日常生活の中で使われる語彙や表現を習得することができる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程は、企業の要請を十分に生かしつつ、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施できるような教育課程となるように、定期的に行なわれる教育課程編成委員会の意見を反映しつつ、本校の教育方針に基づいて学科内で案を作成し、校長の承認を得て教育課程とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小川 義則	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 校長	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
伊藤 洋子	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 教務部長	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
矢島 親男	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 教務科長	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
坂口 大介	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 英語本科・英語科	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
伊東 沙織	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 国際エアライン科	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
加藤 舞	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 国際エアライン科	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
金井 美香子	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 ブライダル科	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
市石 浩久	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 国際ホテル科	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
金井 翼	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 国際ホテル科	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
村瀬 聖治	名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校 教務科	R5.4.1～R7.3.31(2年)	-
山中 純子	国際多読教育学会 理事	R5.4.1～R7.3.31(2年)	②
平松 貴美子	特定非営利活動法人フィール・ザ・ワールド 代表理事	R5.4.1～R7.3.31(2年)	①
犬飼 和幸	ANA中部空港株式会社 総務部 人事部長	R5.4.1～R7.3.31(2年)	③
林 慎治	一般社団法人日本ホテルパーメンズ協会 シニアバーテンダー	R5.4.1～R7.3.31(2年)	①
吉松 健弥	株式会社クレールコーポレーション 統括支配人	R5.4.1～R7.3.31(2年)	③
石井 孝治	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 副総支配人	R5.4.1～R7.3.31(2年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月26日 11:40～12:10

第2回 令和5年2月3日 17:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・教育課程編成委員会やその他の企業等の意見を参考にしつつ、より実践的な教育となるように、企業実習や演習などの授業を取り入れた教育課程表に変更している。
- ・ブライダル接遇マナーなどの科目は、就職活動に向けて、まずは職業意識を高めるという企業からの要望を取り入れた内容となっている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

教員は、最新のブライダル業界事情に精通していなければならないため、教員には常に現場での最先端のブライダル業界状況の勉強を継続してもらいたい。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

ブライダル業界で働くためにはコミュニケーション力が重要である。そこで実際の現場でのコミュニケーション力を身につけるため、現場経験者を派遣してもらい、コミュニケーション力を高め、それと共にチーム力を高めることを目標としている。また、ブライダル業界での業務理解のため、企業と連携しながらインターンシップを実施し、評価シートに基づいて評価をもらっている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ドレスクリエイティブⅠ、Ⅱ	スタイリストとしての基礎的な知識に加え、ソーイングを通して縫物の基礎を習得。ドレス小物などのアイテムを作成する。	・un_atelier
ネイル実習Ⅰ、Ⅱ	ブライダルではいまや欠かせない「ネイル」とは何かを学ぶ。「美しい手」にするための正しい知識と技術を学び、一つのものを作り上げる集中力の向上を目指す。	・Nail & School Bella
和装着付実習Ⅰ、Ⅱ	きもの講師免許2級・3級取得を目標に日本人女性としての立ち居振る舞いを学ぶ。	・(社)きものスタイルアカデミー
ドレスコーディネート	婚礼衣装の知識を学び、衣装の着付けの習得、衣装に合わせたトータルコーディネート力を磨く。	・(株)コンフォート
ウェディンググッズ制作	1年で学んだ色彩の基礎知識を有効に利用し、ブライダルシーンを飾るウェディングアイテムを製作する。	・(株)コンフォート

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

職員研修規程に基づき、毎年度初めに職員研修年間計画を作成し、必要に応じて本校が連携している企業等に委託して本校、若しくは企業にて研修を行うものとする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	コロナ禍で変化した業界の実情～今こそ大切なことは～	連携企業等: 株式会社NOVIC
期間:	令和5年1月19日(木)	対象: 本校ブライダル科専任教員
内容:	株式会社NOVIC 代表取締役の金田昌彦様にお越しいただき、コロナ禍によって変化した業界の実情とそ の中で今こそ業界が欲しい人材とは?、現場で感じる事例を交えて、研修を実施していただいた。	

②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 教務事務力の向上	連携企業等: 教育指導等の外部講師
期間: 令和元年8月21日(水)	対象: 全教職員
内容 教務事務力向上のため、学園本部による全教職員対象の職員研修会が実施され、教育指導等の外部講師を迎え、教育指導力の強化を図った。	
(3)研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: ブライダルプランナー研修会(仮称)	連携企業等: 現在、依頼中
期間: 令和5年10月以降で調整中	対象: 本校ブライダル科専任教員
内容 毎年「ブライダル週間」において、ブライダル系企業(愛知ウェディング協議会)の幹事企業の方にお越しいただき、ブライダル科職員研修会を実施していただく。	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 教育力向上職員研修	連携企業等: 現在、調整中
期間: 令和5年8月実施予定	対象: 全教職員
内容 教育指導力や教務事務力向上のために、外部講師を招き、学園全体の教職員対象の職員研修を実施する。	
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係	
(1)学校関係者評価の基本方針	
平成22年度より、本校は自己点検自己評価を実施しており、報告書という形でホームページ上で公開している。学校関係者評価委員会において、自己点検報告書を客観的に評価してもらい、本校の学校としての質の向上に結び付けたい。	
(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人材像・学校の特徴
(2)学校運営	運営方針・事業計画・意思決定システム
(3)教育活動	教育目標・教育到達レベル・授業評価・教員
(4)学修成果	就職率・資格取得率・退学率の低下
(5)学生支援	就職支援・生活支援・卒業生への支援
(6)教育環境	施設・設備・学外実習・インターンシップ・海外研修
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動・入学選考・学納金
(8)財務	学校の財務基盤・予算収支計画・財務情報公開
(9)法令等の遵守	設置基準等の遵守・個人情報保護
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・ボランティア
(11)国際交流	双方向の学生や先生の留学
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)学校関係者評価結果の活用状況	
ブライダル系学校関係者評価委員より、ブライダル業界は協調性やチームとしての力が重要であり、それらを向上するような取り組みをしたほうが良いのではないかと指摘を受けた。本校ブライダル科としても入学してくる学生の協調性を育てるような取り組みを授業の中にグループワークなどを多く取り入れることにより実施している。	

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
井上 由香	なし	R5.4.1～R6.3.31(1年)	在校生保護者
山中 純子	国際多読教育学会 理事	R5.4.1～R7.3.31(2年)	学会役員
平松 貴美子	特定非営利活動法人フィール・ザ・ワールド 代表理事	R5.4.1～R7.3.31(2年)	団体役員
犬飼 和幸	ANA中部空港株式会社 総務部 人事部長	R5.4.1～R7.3.31(2年)	企業等委員
林 慎治	一般社団法人日本ホテルバーメンズ協会 シニアバーテンダー	R5.4.1～R7.3.31(2年)	団体役員
吉松 健弥	株式会社クレールコーポレーション 統括支配人	R5.4.1～R7.3.31(2年)	企業等委員
石井 孝治	ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 副総支配人	R5.4.1～R7.3.31(2年)	企業等委員
柴山 博昭	オールリリーフ	R5.4.1～R7.3.31(2年)	卒業生代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.ncfl.ac.jp/option/assessment.html>

公表時期: 令和5年9月1日(予定)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の特色や取り組みなど、広くアピールすることで、企業等の関係者の専門学校に対する理解も深まり、実習、就職指導など企業等との連携による活動の充実や、産業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につながる。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の目標及び計画・経営方針・特色
(2)各学科等の教育	入学生数・進級及び卒業の基準・定員・カリキュラム
(3)教職員	教職員数・組織・教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況・実習実技等への取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況・課外活動
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況・中途退学等への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	事業報告書・貸借対照表・収支計算書・監査報告書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果・改善方策
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ・派遣状況
(11)その他	学則・学校運営の状況に関するその他の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.ncfl.ac.jp/>

公表時期: 毎年度初めに更新

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 プライダル科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		一般教養Ⅰ	就職活動に向けての一般的な教養を早く身につけ、就職活動に向けての意識を向上していくようにモチベーションを上げる。	1通	60	4	○			○		○		
2	○		一般教養Ⅱ	就職筆記試験対策として、一般教養、SPIの解説をする。また模擬試験を行い、実際の試験に備える。	2通	60	4	○			○			○	
3	○		コンピュータトレーニング	業務の最も基本である調査、書類、報告等の資料作成への対応力の向上を目指す。パソコンの基礎操作、表計算ソフトExcelのデータ入力や書式設定、印刷等の基本的操作、ワークシート・ブックの管理、数式、関数等の操作技術を学ぶ。	1通	60	4			○	○		○		
4	○		プライダル業界研究Ⅰ	自発的に学ぶ姿勢を身につけながら、プライダルの基本知識を習得し、ぶれない軸を作り上げ、能動的に行動できる人材を育成していく。	1通	60	4	○			○		○		
5	○		プライダル業界研究Ⅱ	プライダル業界の現状と傾向を伝えながら、就職してから現場で役立つような人間力を高める。	2通	60	4	○			○		○		
6	○		プライダル接客マナーⅠ	秘書検定2級・準1級取得を目指す。秘書検定合格のみならず、新社会人として即戦力になるべくビジネスマナーの基礎から応用までを身につける。	1通	60	4		○		○			○	
7	○		プライダル接客マナーⅡ	秘書検定2級・準2級取得を目指す。秘書検定合格のみならず、新社会人として即戦力になるべく①コミュニケーション能力②チャレンジ精神③協調意識のスキルを磨く。	2通	60	4		○		○			○	
8	○		コーディネーター資格試験対策	プライダル業界を目指すために、必要な基礎知識を修得し、アソシエイトプライダルコーディネーター認定合格を目指す。	1通	60	4	○			○			○	
9	○		プライダルコーディネーター技能検定受験対策	プライダルコーディネーターに必要な知識・技能・実践力を修得し、2年次のプライダルコーディネーター技能検定3級の合格を目指す。	2通	60	4	○			○		○		
10	○		プライダルコーディネートⅠ	プライダルと深い関わりと重要な要素を持つ色彩の基礎知識を身につけ、目的に合った色を選び、効果のあるコーディネートができるようにセンスを磨く。	1通	60	4	○			○			○	
11	○		イベント企画・プロデュース演習Ⅰ	挙式の企画から施行までを学び、オリジナル結婚式の提案・進行まで結婚式に関わる実務を習得する。	1通	60	4		○		○		○		
12	○		ホテル総論	ホテル業界の特徴・歴史等を理解し、各セクションの基礎知識を習得することを目的とする。ホテルに対する理解と関心を深め、社会人としての自信につなげる。	1通	60	4	○			○		○		

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
13	○			ドレスクリエイティブ I	スタイリストとしての基礎的な知識に加え、ソーイングを通して縫物の基礎を習得する。	1通	60	4			○	○			○	○
14	○			ネイル実習 I	ブライダルではいまや欠かせない「ネイル」とは何かを学ぶ。「美しい手」にするための正しい知識と技術を学び、一つのものを作り上げる集中力の向上を目指す。	1通	60	4			○	○			○	○
15	○			和装着付実習 I	きもの講師免許3級取得を目標に日本人女性としての立ち居振る舞いを学ぶ。	1通	60	4			○	○			○	○
16	○			ドレスコーディネート	婚礼衣装の知識を学び、衣装の着付けの習得、衣装に合わせたトータルコーディネート力を磨く。	2通	60	4		○		○			○	○
17	○			ビジュアルクリエーション	動画、写真加工等、簡単なホテルブライダルのスターティングムービー、エンドロールの作成ができるように知識・技術を学ぶ。	2通	60	4			○	○			○	
18	○			インターンシップ	主として、ブライダル業界の企業で就業体験を行う。	1前	120	8	○				○			○
19	○			ブライダル実習 I	結婚式の基礎を習得。主に、実践的な実務の強化を行う。	1通	120	8			○	○			○	
20	○			ブライダル実習 II	Iで学んだ基礎から、更に強化をするため現場により近い実務を習得する。	2通	120	8			○	○			○	
21	○			総合演習	卒業制作に向けて、挙式から披露宴まで全ての企画から施行までを行う。現場即戦力を習得する。	2通	150	10			○	○			○	
22		○		ウェディンググッズ制作	1年で学んだ色彩の基礎知識を有効に利用し、ブライダルシーンを飾るウェディングアイテムを製作する。	2通	60	4			○	○				○
23		○		ブライダルアナウンス I	正しい発声、発音、滑舌など好感の持てる話し方の基本、結婚式のアナウンスを学ぶ。	1通	60	4			○	○			○	
24		○		イベント企画・プロデュース演習 II	披露宴の企画から施行までを学び、オリジナル披露宴の提案・進行まで結婚披露宴に関わる実務業務を習得する。	2通	60	4			○	○			○	

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
25	○		ブライダルコーディネートⅡ	ブライダルコーディネーター・ブライダルプランナーとして、披露宴に対するニーズが多様化する中でお客様の希望に臨機応変に対応出来るようにブライダルの基礎知識を身につけることを目的とする。	1通	60	4	○			○			○	
26	○		ブライダルナウンスⅡ	1年で学んだ話し方の基本を応用し、自分の思いを伝える話し方や、表現力の幅を広げることを目的とする。	2通	60	4			○	○		○		
27	○		ブライダルデザイン実習	ブライダルブーケの種類をデザインから学び、作成までを学ぶ。	2通	60	4			○	○			○	○
28	○		ドレスクリエイティブⅡ	ドレスクリエイティブⅠで習得した技術を基に、ドレス小物などのアイテムを作成する。	1通	60	4			○	○			○	○
29	○		トータルコーディネート	ウェディングドレス、カクテルドレスを1年間で作成する。	2通	60	4			○	○			○	○
30	○		ネイル実習Ⅱ	ネイル実習Ⅰよりさらに詳しく「ネイル」とは何かを学ぶ。専門的なことを少しずつ取り入れ、ネイルの技術を生で感じるができるようデモンストラーションを多く取り入れながら説明する。	1通	60	4			○	○			○	○
31	○		和装着付実習Ⅱ	きもの講師免許2級取得を目標に、日本人女性として立ち居振る舞いを学ぶ。	2通	60	4			○	○			○	○
32	○		海外研修Ⅰ	海外ウェディングの現場研修。各セクションでOJTにてブライダルスタッフのあり方を学ぶ。	1前	30	2	○				○	○		
33	○		海外研修Ⅱ	Ⅰで学んだことを基として、各国のウェディングを企画・演出・施行をする。	2前	30	2	○				○	○		
合計						33 科目		124 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： ①学年度を通じて出席すべき日数の5分の4以上出席している ②定期試験、再試験にて全科目を受験し、合格(評価60点以上)している		1学年の学期区分	2期
履修方法： 必修科目102単位、選択必修科目22単位、合計124単位を履修する		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。